

平成27年度大学入学者選抜（大学入試センター試験）
における旧教育課程履修者に対する経過措置
（教育学部・経済学部・システム工学部・観光学部）

和歌山大学 入試課

平成26年3月24日

高等学校学習指導要領の改訂に伴う平成27年度大学入学者選抜（大学入試センター試験）における旧教育課程履修者に対する経過措置については、別紙のとおりとします。なお、本経過措置は平成27年限りの措置とします。

なお、現時点での内容であり、今後、変更する可能性もありますので、本学からの発表についてご注意願います。

平成27年度大学入学者選抜（大学入試センター試験）における旧教育課程履修者に対する経過措置（案）

旧教育課程履修者は、数学または理科の受験科目について、以下のA欄に対応するB欄の経過措置科目を選択することもできます。

和歌山大学

学部名				教科・科目名等		選抜	大学入試センター試験の利用教科・科目名				備考	
							新・旧教育課程履修者の選択方法【A欄】		旧教育課程履修者のうち希望する者の選択方法【B欄】			
							教科	科目名等	教科	科目名等		
教 育 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	文 科 系	前期日程	国 地歴 公民 数	国 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から2 現社,倫,政経,倫・政経 数・数A 数・数B,工,簿,情報から1	数	旧数・旧数A 旧数・旧数B	理	理 理 理	理 理 理	<p>大学入試センター試験の利用教科・科目について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、高得点の教科・科目を選択する。ただし、地歴および公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を選択する。 2. 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において、これらの科目を履修した者（大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含む。）及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限る。 3. 「学校教育教員養成課程（実技系）（前期日程）、総合教育課程（後期日程）」を受験する者は、地歴および公民から2科目を選択した場合には、理科で基礎を付した2科目（又は基礎を付していない科目1科目）を選択するか、もしくは、地歴および公民から1科目を選択した場合には、理科で基礎を付していない科目2科目を選択する。 4. 外国語の「英語」については、筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点を200点に換算したものを得点（素点）とする。 <p>地歴又は公民で2科目を選択する場合には、同一名称のA・B出題科目、同一名称を含む出題科目同士との組み合わせはできない。</p> <p>理科で基礎を付していない1科目を選択できる一定の条件については、大学入試センターが試験時間等の詳細を決定した後に改めて公表する。</p> <p>B欄の経過措置科目の選択についての注意</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 旧教育課程の理科から1科目を利用する場合は、地歴および公民の場合と同様に、得点にかかわらず第1解答科目を選択する。 2. 旧教育課程の理科の科目を選択して「学校教育教員養成課程（実技系）（前期日程）、総合教育課程（後期日程）」を受験する者は、地歴および公民から2科目を選択した場合には、理科1科目を選択するか、もしくは、地歴および公民から1科目を選択した場合には、理科で2科目を選択する。 3. 旧教育課程の理科で2科目を選択する場合には、「理科総合A」と「理科総合B」との組み合わせはできない。 4. 理科で2科目を選択する場合には、新・旧の異なる教育課程の科目の組み合わせはできない。 	
			後期日程	理 外	物基,化基,生基,地基から2（又は物,化,生,地から1） 英（リスニングを含む）,独,仏,中,韓から1	【6教科8（7）科目又は5教科8（7）科目】	理 理		理 理	理 理		理 理
		理 科 系	前期日程	国 地歴 公民 数	国 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から1 現社,倫,政経,倫・政経 数・数A 数・数B,工,簿,情報から1	数	旧数・旧数A 旧数・旧数B	理	理 理	理 理		
			後期日程	理 外	物基,化基,生基,地基から2（又は物,化,生,地から1） 英（リスニングを含む）,独,仏,中,韓から1	【5教科7科目】	理 理		理 理	理 理		
		実 技 系	「音楽又は美術」 （教科教育コース）	前期日程	国 地歴 公民 数	国 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から2 もしくは1 現社,倫,政経,倫・政経 数・数A 数・数B,工,簿,情報から1	数	旧数・旧数A 旧数・旧数B	理	理 理		理 理
	後期日程			理 外	物基,化基,生基,地基から2（又は物,化,生,地から1） もしくは物,化,生,地から2 英（リスニングを含む）,独,仏,中,韓から1	【6教科8（7）科目又は5教科8（7）科目 もしくは5教科7科目】	理 理	理 理		理 理		
	実 技 系	「保健体育」 （教科教育コース）	前期日程	国 地歴 公民 数	国 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から2 もしくは1 現社,倫,政経,倫・政経 数・数A 数・数B,工,簿,情報から1	数	旧数・旧数A 旧数・旧数B	理	理 理	理 理		
			後期日程	理 外	物基,化基,生基,地基から2（又は物,化,生,地から1） もしくは物,化,生,地から2 英（リスニングを含む）,独,仏,中,韓から1	【6教科8（7）科目又は5教科8（7）科目 もしくは5教科7科目】	理 理		理 理	理 理		
	学 部	総 合 教 育 課 程	文 科 系	前期日程	国 地歴 公民 数	国 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から2 現社,倫,政経,倫・政経 数・数A 数・数B,工,簿,情報から1	数	旧数・旧数A 旧数・旧数B	理	理 理		理 理
				後期日程	理 外	物基,化基,生基,地基から2（又は物,化,生,地から1） 英（リスニングを含む）,独,仏,中,韓から1	【6教科8（7）科目又は5教科8（7）科目】	理 理		理 理		理 理
理 科 系		前期日程	国 地歴 公民 数	国 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から1 現社,倫,政経,倫・政経 数・数A 数・数B,工,簿,情報から1	数	旧数・旧数A 旧数・旧数B	理	理 理	理 理			
		後期日程	理 外	物基,化基,生基,地基から2（又は物,化,生,地から1） もしくは物,化,生,地から2 英（リスニングを含む）,独,仏,中,韓から1	【5教科7科目】	理 理		理 理	理 理			
総合教育課程	後期日程	一般入試	国 地歴 公民 数	国 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から2 もしくは1 現社,倫,政経,倫・政経 数・数A 数・数B,工,簿,情報から1	数	旧数・旧数A 旧数・旧数B	理	理 理	理 理			
理 外	物基,化基,生基,地基から2（又は物,化,生,地から1） もしくは物,化,生,地から2 英（リスニングを含む）,独,仏,中,韓から1	【6教科8（7）科目又は5教科8（7）科目 もしくは5教科7科目】	理 理	理 理	理 理							

平成27年度大学入学者選抜（大学入試センター試験）における旧教育課程履修者に対する経過措置（案）

旧教育課程履修者は、数学または理科の受験科目について、以下のA欄に対応するB欄の経過措置科目を選択することもできます。

和歌山大学

学部名		教科・科目名等		選抜	大学入試センター試験の利用教科・科目名				備考
					新・旧教育課程履修者の選択方法【A欄】		旧教育課程履修者のうち希望する者の選択方法【B欄】		
					教科	科目名等	教科	科目名等	
教 育 部	学校教育教員 養成課程	教育科学コース 「特別支援教育学」	推薦入試	国	国 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B 現社,倫,政経,倫・政経 } から1	数	旧数・旧数A 旧数・旧数B 理総A,理総B,物,化,生,地 から1	大学入試センター試験の利用教科・科目について 1. 選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超過して受験している場合には、高得点の教科・科目を選択する。ただし、地歴および公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を選択する。 なお、理科で基礎を付していない1科目を利用する場合の科目の採択方法については、大学入試センターが試験時間等を決定した後に変更して公表する。 2. 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において、これらの科目を履修した者に限る。 3. 外国語の「英語」については、筆記試験（200点）とリスニングテスト（50点）の合計得点を200点に換算したものを得点（素点）とする。 理科で基礎を付していない1科目を選択できる一定の条件については、大学入試センターが試験時間等の詳細を決定した後に変更して公表する。 B欄の経過措置科目の選択についての注意 1. 旧教育課程の理科から1科目を利用する場合は、地歴および公民の場合と同様に、得点にかかわらず第1解答科目を選択する。 2. 旧教育課程の理科で2科目を選択する場合には、「理科総合A」と「理科総合B」との組み合わせはできない。 3. 理科で2科目を選択する場合には、新・旧の異なる教育課程の科目の組み合わせはできない。	
				公民	数・数A				理
				数	数・数B,工,簿,情報から1				
	理	物基,化基,生基,地基から2（又は物,化,生,地から1） 英（リスニングを含む）,独,仏,中,韓から1 【5教科7（6）科目】							
	総合教育課程	公民		数	国	国 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B 現社,倫,政経,倫・政経 } から1	数		旧数・旧数A 旧数・旧数B 理総A,理総B,物,化,生,地 から1
					公民	数・数A			
数			数・数B,工,簿,情報から1						
理	物基,化基,生基,地基から2（又は物,化,生,地から1） 英（リスニングを含む）,独,仏,中,韓から1 【3教科4（3）科目】								
総合教育課程	公民	数	国	国 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B 現社,倫,政経,倫・政経 } から1	数	旧数・旧数A 旧数・旧数B 理総A,理総B,物,化,生,地 から2			
			公民	数・数A			理		
			数	数・数B,工,簿,情報から1					
理	物,化,生,地から2 英（リスニングを含む）,独,仏,中,韓から1 【3教科4科目】								

平成27年度大学入学者選抜（大学入試センター試験）における旧教育課程履修者に対する経過措置（案）

旧教育課程履修者は、数学または理科の受験科目について、以下のA欄に対応するB欄の経過措置科目を選択することもできます。

和歌山大学

学部名			教科・科目名等		選抜		大学入試センター試験の利用教科・科目名				備 考	
							新・旧教育課程履修者の選択方法【A欄】		旧教育課程履修者のうち希望する者の選択方法【B欄】			
							教科	科目名等	教科	科目名等		
経	済	部	経済学科 ビジネスマネジメント学科	前期日程	一般入試	国	国	数	旧数 , 旧数・旧数Aから1	理	旧数・旧数B 理論A,理論B,物,化,生,地から1	大学入試センター試験の利用教科・科目について 1. 選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超過して受験している場合には、高得点の教科・科目を選択する。ただし、地歴および公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を選択する。 なお、理科で基礎を付していない1科目を利用する場合の科目の採択方法については、大学入試センターが試験時間等を決定した後に変更して公表する。 2. 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において、これらの科目を履修した者（大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含む。）および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限る。 3. 前期日程を受験する者は、地歴および公民の2科目を選択する際、【世B,日B,地理B】から必ず1科目以上を選択すること。 4. 後期日程を受験する者は、国語,地歴・公民,数学,理科から2科目または3科目を選択する際、次の選択を可とする。 a. 地歴および公民から2科目 【世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1または2】及び【現社,倫,政経,倫・政経から0または1】を組み合わせ計2科目を選択。 b. 数学から2科目 【数,数・数Aから1】及び【数,数・数B,工,簿,情報から1】から1科目ずつの計2科目を選択。 c. 理科の基礎を付している科目から2科目と、国語,地歴,公民,数学から1科目の計3科目を選択。 d. 理科の基礎を付していない科目から1科目と、国語,地歴,公民,数学から1科目の計2科目を選択。 5. 地歴又は公民で2科目を選択する場合には、同一名称のA・B出題科目,同一名称を含む出題科目同士との組み合わせはできない。 6. 後期日程において、地歴および公民の中から第2解答科目の得点を採択する場合は、第1解答科目の得点を採択する場合に限る。 理科で基礎を付していない1科目を選択できる一定の条件については、大学入試センターが試験時間等の詳細を決定した後に変更して公表する。 B欄の経過措置科目の選択についての注意 1. 旧教育課程の理科から1科目を利用する場合は、地歴および公民の場合と同様に、得点にかかわらず第1解答科目を選択する。
						地歴	世B,日B,地理B					
公民	現社,倫,政経,倫・政経											
数	数,数・数Aから1	から2 又は3	旧数・旧数B									
理	数,数・数B,工,簿,情報から1											
外	物基,化基,生基,地基から2 (又は物,化,生,地から1)	から1	理論A,理論B,物,化,生,地から1									
	英(リスニングを含む),独,仏,中,韓から1 【6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目】											
						国	国	数	旧数 , 旧数・旧数Aから1	理	理論A,理論B,物,化,生,地から1	
						地歴	世A,世B,日A,日B,地理A,地理Bから1または2					
						公民	現社,倫,政経,倫・政経から1					
						数	数,数・数Aから1					
						理	数,数・数B,工,簿,情報から1					
						外	物基,化基,生基,地基から2 (又は物,化,生,地から1)					
							英(リスニングを含む),独,仏,中,韓から1 【3教科4(3)科目又は2教科3科目】					

平成27年度大学入学者選抜（大学入試センター試験）における旧教育課程履修者に対する経過措置（案）

旧教育課程履修者は、数学または理科の受験科目について、以下のA欄に対応するB欄の経過措置科目を選択することもできます。

和歌山大学

学部名 教科・科目名等			選抜	大学入試センター試験の利用教科・科目名				備考
				新・旧教育課程履修者の選択方法【A欄】		旧教育課程履修者のうち希望する者の選択方法【B欄】		
				教科	科目名等	教科	科目名等	
システム工学部	情報通信システム学科 光メカトロニクス学科 精密物質学科 環境システム学科 デザイン情報学科	前期日程	一般入試	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数, 数・数Aから1 数, 数・数B, 工, 簿, 情報から1 理 物, 化, 生, 地から2 英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】	数	旧数, 旧数・旧数Aから1 旧数・旧数B	大学入試センター試験の利用教科・科目について 1. 地歴および公民において、必要教科・科目数を超過受験している場合には、得点にかかわらず第1解答科目を選択する。 2. 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において、これらの科目を履修した者(大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含む。)及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込み)者に限る。 B欄の経過措置科目の選択についての注意 1. 旧教育課程の理科で2科目を選択する場合には、「理科総合A」と「理科総合B」との組み合わせはできない。 2. 理科で2科目を選択する場合には、新・旧の異なる教育課程の科目の組み合わせはできない。	
		後期日程	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数, 数・数Aから1 数, 数・数B, 工, 簿, 情報から1 理 物, 化, 生, 地から2 英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】	数	旧数, 旧数・旧数Aから1 旧数・旧数B			
			推薦入試	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数, 数・数Aから1 数, 数・数B, 工, 簿, 情報から1 理 物, 化, 生, 地から2 英(リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】	数	旧数, 旧数・旧数Aから1 旧数・旧数B	大学入試センター試験の利用教科・科目について 1. 地歴および公民において、必要教科・科目数を超過受験している場合には、得点にかかわらず第1解答科目を選択する。 2. 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において、これらの科目を履修した者に限る。 B欄の経過措置科目の選択についての注意 1. 旧教育課程の理科で2科目を選択する場合には、「理科総合A」と「理科総合B」との組み合わせはできない。 2. 理科で2科目を選択する場合には、新・旧の異なる教育課程の科目の組み合わせはできない。	

平成27年度大学入学者選抜（大学入試センター試験）における旧教育課程履修者に対する経過措置（案）

旧教育課程履修者は、数学または理科の受験科目について、以下のA欄に対応するB欄の経過措置科目を選択することもできます。

和歌山大学

学 部 名 教科・科目名等			選 抜	大学入試センター試験の利用教科・科目名				備 考
				新・旧教育課程履修者の選択方法【A欄】		旧教育課程履修者のうち希望する者の選択方法【B欄】		
				教科	科 目 名 等	教科	科 目 名 等	
観 光 学 部	観光経営学科 地域再生学科	前期日程	一般入試	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から2 数, 数・数Aから1 数, 数・数B, 工, 簿, 情報から1 理 物基, 化基, 生基, 地基から2 (又は物, 化, 生, 地から1) 外 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 【6教科8(7)科目又は5教科8(7)科目】	数	旧数, 旧数・旧数Aから1 旧数・旧数B 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地 から1	<p>大学入試センター試験の利用教科・科目について</p> <p>1. 選択教科・科目のうち、必要教科・科目数を超えて受験している場合には、高得点の教科・科目を選択する。ただし、地歴および公民から1科目を利用する場合は、得点にかかわらず、第1解答科目を選択する。</p> <p>なお、理科で基礎を付していない1科目を利用する場合の科目の採択方法については、大学入試センターが試験時間等を決定した後に改めて公表する。</p> <p>2. 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）において、これらの科目を履修した者（大学入学資格検定試験合格者で、これらの科目に合格した者を含む。）および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限る。</p> <p>3. 前期日程を受験する者は、地歴および公民の2科目を選択する際、【世B, 日B, 地理B】から必ず1科目以上を選択すること。</p> <p>4. 後期日程を受験する者は、地歴および公民から2科目を選択、又は数学の【数, 数・数Aから1】および【数, 数・数B, 工, 簿, 情報から1】から1科目ずつの計2科目選択することができる。</p> <p>5. 地歴又は公民で2科目を選択する場合には、同一名称のA・B出題科目、同一名称を含む出題科目同士との組み合わせはできない。</p> <p>6. 後期日程において、地歴および公民の中から第2解答科目の得点を選択する場合は、第1解答科目の得点を選択する場合に限る。</p> <p>理科で基礎を付していない1科目を選択できる一定の条件については、大学入試センターが試験時間等の詳細を決定した後に改めて公表する。</p> <p>B欄の経過措置科目の選択についての注意</p> <p>1. 旧教育課程の理科から1科目を利用する場合は、地歴および公民の場合と同様に、得点にかかわらず第1解答科目を選択する。</p>	
		後期日程		国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } または2 数, 数・数Aから1 数, 数・数B, 工, 簿, 情報から1 理 物基, 化基, 生基, 地基から2 外 (又は物, 化, 生, 地から1) 英 (リスニングを含む), 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科4(3)科目又は2教科3科目】	数 理	旧数, 旧数・旧数Aから1 旧数・旧数B 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地 から1		